

第9回全国へびも民俗芸能大会
民間協議会主催の大会

親をいたるし
こどもも
まっぴり



2007年7月29日(日)
日本青年館大ホール
12:30 開場 13:00 開演

主 催 社団法人 全日本郷土芸能協会

後 援 文部科学省 インド大使館 北海道教育委員会 岩手県教育委員会 東京都教育委員会
静岡県教育委員会 愛知県教育委員会 広島県教育委員会 鹿児島県教育委員会
独立行政法人教員研修センター 全国民俗芸能保存振興市町村連盟 (財) 伝統文化活性化国民協会
(財) 日本青年館 日本青年団協議会 (株) 教育新聞社

助 成 日本財団 *競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。

豊かな心を育む文化を次世代へ
第4回
伝統文化
研修セミナー
2007

7月28日(土)/29日(日)

親子でた まごひ

練習を重ねてきた出演団体の子どもたちと、その陰で支え励まし続けた周囲の皆様へ厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、文部科学省をはじめご後援を頂きました各関係団体の皆様、助成を頂きました日本財団、そして日々練習を重ねてきた出演団体の子どもたちと、その陰で支え励まし続けた周囲の皆様へ厚く御礼申し上げます。

いっしょに

社団法人 全日本郷土芸能協会 理事長 菴谷 利夫



第9回目を迎えました「全国子ども民俗芸能大会」は、今年も各都道府県教育委員会から多くのご推薦を頂きました。毎年この大会ですが選考委員会では、出演を目指す各団体の熱い思いも感じられ、単に団体を優秀で選考するのではなく、芸能内容の構成や地域的なバランスなどを考慮するわけですが、選考には大変苦慮しております。

そうした経過を経て選ばれました8団体の子ども達は、それぞれの郷土で育まれた素晴らしい芸能を、郷土の誇りを背にして披露してくれることでしょう。昨年に引き続き、海外芸能団体も出演します。国際文化交流や国際理解も育まれる事が大いに期待されます。

さて、昨今の子ども達を取り巻く環境は、大きく変化しております。また、痛ましい事件も聞こえてまいります。今の子ども達はとにかく忙しい、かつては子ども達の生活の中で存在した、遊びなどの様々な時間が失われたために生じてきた問題も少なくないと思われれます。その中には民俗芸能（祭り）で代表されるような地域文化も例外ではありません。子ども達にとっては脈々と受け継がれてきた民俗芸能（祭り）に加わるという体験を経て、成長していく通過儀礼としての精神性を有した場でもあったわけです。それは先祖より受け継がれてきた掛け替えない知恵であり、生きる力となるものです。今年の「第4回伝統文化研修セミナー」では、「豊かな心を育む文化を次世代へ」見直そう、地域文化としての「民俗芸能」をテーマとし、貴重な事例発表を交えて開催いたします。地域と学校そして家庭、それぞれの連携による地域文化として、民俗芸能を見直してはどうでしょうか。

出演団体選考委員会 委員長 宇野 小四郎



地域の社会に豊かな彩りを添える民俗芸能を、全国の子ども達が一同に会して演じる「全国子ども民俗芸能大会」も、第9回となりました。

今年は、全国47都道府県より70団体の推薦を頂いた内より選考いたしました。その結果、北海道・東北ブロックより北海道の「松前神楽」、岩手県の「鹿子躍・鶏舞」、関東ブロックより静岡県県の「滝沢の放歌踊り」、東京より「江戸の祭り囃子」、近畿・東海・北陸ブロックより愛知県県の「御殿万歳」、中国・四国ブロックより広島県の「御調神楽」、九州・沖縄ブロックより鹿児島県の「島唄・六調」が選ばれました。また、昨年からは始まった外国の子ども達による自国の民俗芸能はインドの芸能を「コンテンポラリー・ナティヤム・カンパニー」に出演して披露していただく事になりました。

ここで選ばれた演目はとても多様で、地域的な特色を持っています。そこには日本人の心の豊かさが現れています。そして子ども達はこのような芸能を伝承する事によって、郷土というものを身近に感じるようになります。同時に地域が活性化する上で、期待される子ども達の姿でもあります。

子ども達の努力が結集して一生懸命演じる楽しくて元気な舞台は、毎年の観客に深い感銘を与えてまいりました。今年もきつと期待に添える舞台になると信じております。

併催される「第4回伝統文化研修セミナー」は、「豊かな心を育む文化を次世代へ」見直そう、地域文化としての民俗芸能」をテーマとし、基調講演、事例発表、パネルディスカッションが行われ、充実した内容になっております。最後になりましたが、御後援、御協力を頂きました関係諸団体、御力添えを頂いた多くの皆様にご心より御礼申し上げます。

豊かな心を育む文化を次世代へ

7月28日(土)
日本青年館・中ホール

第4回
伝統文化
研修セミナー
2007

伝統文化研修セミナー



13時 開会

主催者挨拶 理事長 菴谷利夫

★基調講演

「世界の子どもの祭り」

講師 芳賀日出男 (写真家)

- ★事例発表① 一関市立舞川小学校「鹿子躍・鶏舞」 教 諭*三宅茂雄
- 事例発表② 三浦いなりっこ保存会「いなりっこ」 会 長*湊不二雄
- 事例発表③ 西尾市立西野町小学校「御殿万歳」 教 諭*都築 進
- 事例発表④ 淀江さんこ節保存会「淀江さんこ節」 事務局*奥田晃巳

★パネルディスカッション

「豊かな心を育む文化を次世代へ～見直そう、地域文化としての民俗芸能」
コーディネイター

小島美子 (国立歴史民俗博物館 名誉教授)

パネラー (予定)

加藤富美子 (東京学芸大学 教授)

菊池和博 (東北芸術工科大学東北文化研究センター 准教授)

田村 学 (国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官
併文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

宮田繁幸 (独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所
無形文化遺産部 部長)



7月29日(日)
日本青年館・大ホール

10時開会 「第9回全国こども民俗芸能大会」
の舞台稽古見学と解説

解説 宮田 繁幸

(独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所 無形文化遺産部部長)

13時 「第9回全国こども民俗芸能大会」
公演鑑賞

第9回全国こども民俗芸能大会
民俗芸能が広がる子どもの世界

出演団体選考委員会委員

- | | | |
|-----|-------|-------------------|
| 委員長 | 宇野小四郎 | 現代人形劇センター 顧問 |
| 委員 | 芳賀日出男 | 写真家 |
| 委員 | 星野 紘 | 東京文化財研究所 名誉研究員 |
| 委員 | 掛谷 昇治 | (財)日本青年館 公益事業部次長 |
| 委員 | 城井 智子 | (社)全日本郷土芸能協会 専務理事 |

7月29日(日)
日本青年館・大ホール

親子でたのしむ まごども まつり



プログラム

オープニング

第一景 御殿万歳
〔鶴亀〕

第二景 鹿子躍・鶏舞

第三景 御調神楽
〔折敷舞〕〔剣舞〕

第四景 江戸の祭り囃子
〔通り囃子〕〔仁羽〕

第五景 滝沢の放歌踊り

休憩

笛のいろいろワークショップ

第六景 インドの伝統芸能
〔バラタナティヤム〕

第七景 松前神楽
〔福田舞〕〔二羽散米舞〕〔獅子舞〕

第八景 島唄・六調
〔ワイド節〕〔徳之島一切節〕〔六調〕

フィナーレ



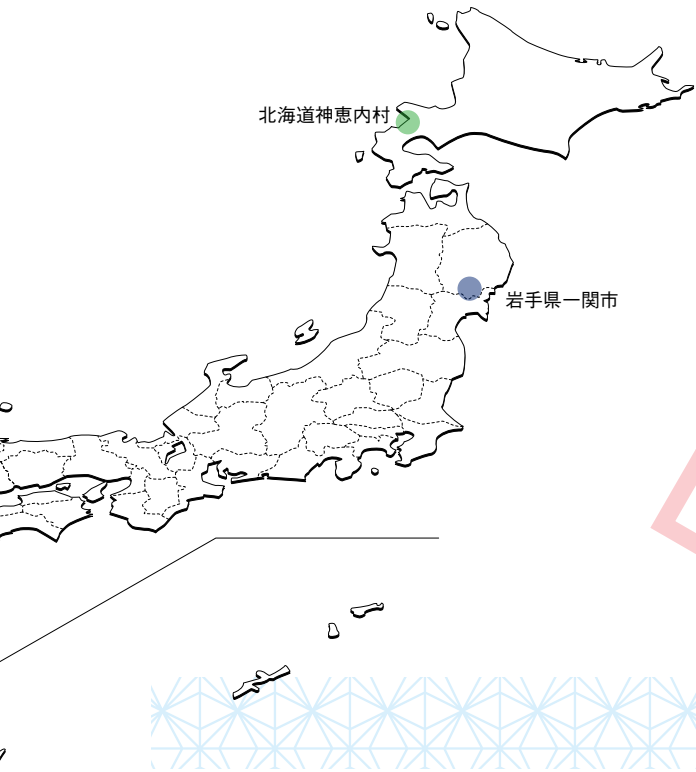
司会 斉藤みどり



出演団体紹介



北海道・東北ブロック
北海道神恵内村
松前神楽
神恵内松前神楽保存会



「松前神楽」は、およそ500年前に松前藩の祖とされる武田氏が蝦夷地鎮定を祈願した時に始まったと伝えられている。この神楽は湯立ての儀式と舞楽を合わせて三十三の演目があり、松前藩の歴代藩主は神職の必修課目として奨励したと言われている。廃藩後はこの神楽に奉仕した社家神職によって受け継がれ、北海道の日本海沿岸地域や道南地域など広い地域で传承されている。神恵内村の鎮守である巖島神社は、当時松前藩の航海安全の祈願神社として、藩主より藩紋である「丸に武田菱」の御紋を社紋にする事を許される藩とは縁深い神社である。故に約70年前より神職を中心に地元の子供達により松前神楽が演じられ、これまで絶えることなく継承されてきた。



北海道・東北ブロック●岩手県一関市
鹿子躍・鶏舞
一関市立舞川小学校

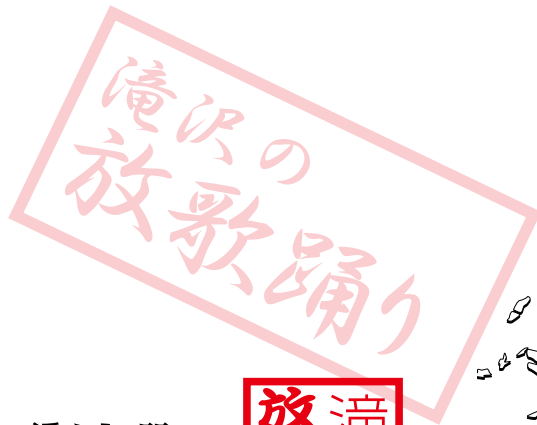


「行山流鹿子躍」は、300余年前の江戸中期、現在の宮城県南三陸町から相川村へと伝わった。鹿踊は通常8人で踊られ、鹿角のついた頭に締太鼓、背中の「ササラ」が特徴的。昭和63年から地元相川小学校で積極的な継承活動が行われてきた。また、「鶏舞」は舞草村に120余年前から伝わる「蓬田神楽」の演目の一つ。天の岩戸を開けるべく鶏達が乱舞したさまを踊りにしたものとされ、勇壮闊達。舞草小学校で、昭和60年より継承活動に取り組んできた。平成7年4月相川と舞草が統合し舞川小学校になったが、一つの学校で二つの芸能が継承されるという珍しいケースとなった。毎月1回の定期練習、5月の運動会と2月の引継ぎ式の前の強化練習を、3年生以上で行っている。



親子でたのしむ

まじりもの



関東ブロック●静岡県浜松市
滝沢の放歌踊り
浜松市立都田中学校放歌踊り倶楽部

「滝沢の放歌踊り」は、浜松市滝沢町に伝わるもので、源は鎌倉・室町時代にさかのぼる。初盆のお宅を訪問し、歌や踊りを奉納することを通して、先祖の回向を目的としている。近年、浜松市滝沢町の人口流出や児童数減少に伴い、地元の小学校が休校になる状況から、後継者育成が急務となっていた。そこでこうした現状をふまえて、平成12年度から学校教育活動の中に、この地域に伝わる「放歌踊り」を取り入れる模索を始め、現在の放歌踊り倶楽部の活動に至っている。活動は毎月第2、第4日曜日の午前中を中心に「滝沢の放歌踊り保存会」の皆さんの指導を受けながら活動している。



東京●新宿区
江戸の祭り囃子
戸塚囃子保存会

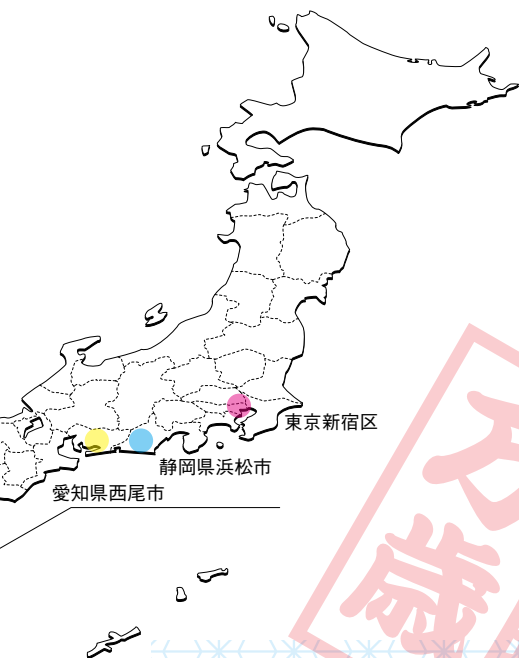


「戸塚囃子」は、江戸末期に旧下戸塚村（現・新宿区西早稲田）に伝わったと云われる田淵流・中間（ちゅうま）囃子である。東京でも少なくなった中間囃子として、昭和初期に途絶えたものを昭和51年に復活し、平成2年新宿区唯一の祭り囃子として無形民俗文化財の指定を受けた。毎週火曜の練習には6歳から70歳までが水稲荷神社に集まり、練習している。今回は途中で獅子が出てくる「通り囃子」と、「ひょっとこ」などの舞手が登場する「仁羽」を披露する。毎年9月上旬の土日の祭礼で奉納されている。





出演団体紹介



近畿・東海・北陸ブロック
●愛知県西尾市
御殿万歳
西尾市立西野町小学校
御殿万歳クラブ



愛知県西尾市西野町北側地区の旧・森下村は三河万歳発祥の地といわれ、ここに伝わる御殿万歳は平成7年に愛知県幸田・安城の万歳とともに国の重要無形民俗文化財に指定された。西野町の三河万歳は約700年の伝統を誇り、江戸時代には徳川氏の庇護もあって、万歳師は名字帯刀が許され、通行手形はなしで関所を通ることができたそうである。西野町小学校御殿万歳クラブは、校区に伝わる三河万歳を受け継ごうと昭和63年度につくられ、現在4年生から6年生の部員で伝承活動を行っている。演じるのは「鶴亀」で、江戸時代そのままの形に近いものと言われている。

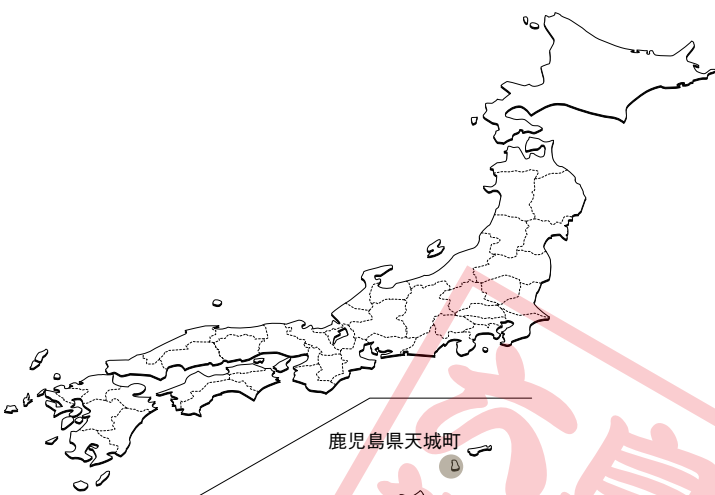


中国・四国ブロック●広島県尾道市
御調神楽
尾道市立上川辺小学校子ども神楽教室

「御調神楽」は、「三恵比寿」「悪魔払い」「折敷舞」などの舞によって構成されており、畳2枚の広さの中で舞う備中神楽の古型を多分に残している舞である。この神楽は御調町の貴重な文化遺産であり、何としても後世に伝承していきたいとの強い思いから、昭和55年に御調神楽保存会が結成された。その2年後に小学校でも「古里を見直し、郷土愛を育てよう」とクラブ活動として「子ども神楽教室」を始め、保存会の方の指導を受けながら現在に至っており、毎年6年生が習い続けている。今回の演目は白衣に袴・鉢巻・襷がけの衣裳で、両手に盆を持ちその上に盃を置き反転や回転を行う舞である「折敷舞」と、4人が白紙で巻いた剣先と柄をい互いに持ち、飛んだりくぐったり複雑に激しく舞う「剣舞」を披露する。



親子でたのしむ まごころの まっぴりもの



鹿児島県天城町

**島唄
六調**

九州・沖縄ブロック
鹿児島県天城町
島唄・六調
天城子宝六調バンド

出演団体紹介

奄美、喜界、徳之島などの六調は、本土からの移入文化と言われ歌詞も徳之島の方言があまり使われていない。ところが、島の方言でチュウモウラシ(輪になって座りタオルハチマキをして踊り、このタオルハチマキを渡された方は次々と踊り、輪の全員が踊る習わし)と言われるぐらい古い時代から唄われ踊られ続けてきたもので郷土芸能として奄美本来のリズムで三味線演奏法も踊りも伝承されている。徳之島では祝い事の最後の場で、三味線・太鼓に合わせて唄い手が唄い出すと、どこからともなく自由表現での踊りが始まり、宴を盛り上げる習わしになっている。今回は、徳之島の闘牛の唄「ワイド節」の後に六調踊りを披露する。



在日海外団体●東京都練馬区 インドの伝統芸能

コンテンポラリー・ナティヤム・カンパニー

今回披露する南インドの古典舞踊「バラタナティヤム」は、「カタック」「カタカリ」「マニプリ」と並び、インド4大古典舞踊のうち最古の伝統を誇っている。もともとはヒンドゥ教の寺院で巫女たちが神々に奉げる舞踊として発展し、現在もインド全土で大変人気の高い舞踊であり、観客を引き込まずにはおかない華麗な動きと豊かな表現力には定評がある。「バラタ」はインドの意、「ナティヤム」は踊りの意で文字通りインドを代表する舞踊である。コンテンポラリー・ナティヤム・カンパニー（代表：インド舞踊家・野火杏子）では、在日インド人学校の子どもの他幅広くインド舞踊の普及・指導を行っている。



インドの伝統芸能



神恵内松前神楽保存会

斉藤喬大 佐藤友美 斉藤瑞生 蛭子真秀 斉藤佑紀 三浦美優 佐藤来美 米田未来 横岡梨穂 板谷一弘
松尾多花子 高橋昌幸 板谷貴史 池田幸雄 斉藤敏幸

一関市立舞川小学校

東城芳徳 千葉ゆき 大畑良幸 菅原峻也 菅原佑香 千葉雅士 菅原 葉 高橋伸伍 千田綾香 千田大貴 菅原汐音
千葉美帆 松岡 明 石川諒樹 佐藤 侑 千葉桃子 千葉香純 小野寺重次 佐藤浩一 佐藤隆士 蓬田稔 蓬田俊一
岩淵次郎 高橋弘毅 三宅茂雄 高橋英樹 熊谷志津

浜松市立都田中学校放歌踊り倶楽部

渥美有希子 須部 颯 松島佑里香 松原 綾 松本栞奈 山下晃佑 岡師里紗 松本七虹 渥美愛美 渥美莉奈
鈴木杏子 中村飛鳥 山下元華 内山智尋 西澤真由 森上紗帆 山田幸乃 松本将暉 山下優佳 小出史織
山下哲平 山梨 鷹 影山智子 伊藤ひとみ 渥美健太郎 山口 翼 遠藤義峻 伊藤亜純 袴田和広 山本卓司
小川陽明 杉本陽登 鈴木東介 植嶋早紀 久米夢奈 杉本明美 戸田美岬 川合葉未 秋山美早紀 小川純葉
小杉加奈美 高橋茉莉 内山達郎 杉山秀勝 西澤金男 山下峰與 渥美位茂 山下英治 山下三夫 山下勝由
中村守良 久野欽弘 赤堀由季 松島一晃

戸塚囃子保存会

吉田紘一 長南一樹 藤田美保 宮本憲一 田村康弘 斉藤晶子 奥津 真 山田祐紀子 半下石和也 堀 征紀
堀 宥永 堀 未歩 吉澤 柊 吉澤 李 木暮美菜 木暮天人 木暮大河 川又壱也 石田詩音 石田寧々
山田怜人 橘奈津海 山上妙子 青木美咲 泉 南帆

西尾市立西野町小学校御殿万歳クラブ

杉浦伴哉 杉本奈都子 赤堀希望 北島稜太郎 川合利哉 守山竜馬 伊奈信幸 鈴木 睦 都築 進 米津美智子
神谷久美子

尾道市立上川辺小学校子ども神楽教室

山崎 泉 後藤 歩 太田葉穂 小川翔己 清川智之 中西翔平 亀山友哉 奥永雛子 山根 陸 清川恵太
江木島麻琴 高山哲俊 秋山知子 桑田晶子

天城子宝六調バンド

三代さやか 祈さやか 叶奈津美 麓 良平 豊島佑樹 川上千春 福山華子 豊島淳奈 叶 夢見 北郷信太郎
堀切隆正 森田美咲 田畑みすず 新田夢楓 新田彩楓 堀切恵美 森田龍太郎 田平久太郎 森田克己

コンテンポラリー・ナティヤム・カンパニー

Bhavya Jhaveri Jhanvi Jhaveri Khushi Santosh Bhajane Kushuboo Gosain Mansi Natarajan Indira Pimpalkhare
Shalmali Gadgil Subhasree Mahadevan Kanupriya Chari Khushi Jhaveri Krishna Jhaveri Nidhi Sunarna
Reshma Rapeta Varsha Mohan Aishwariya Vyamajala Veena Lahari
野火杏子 吉沢智子 杉山恵里子

松前神楽
鹿子躍・鶏舞
滝沢の放歌踊り
江戸の祭り囃子
御殿万歳
御調神楽
鳥唄・六調
インドの伝統芸能

全国こども民俗芸能大会出演団体

平成11年度（1999年）第1回こども民俗芸能大会『キッズ21～お祭わっしょい』

貫井囃子	: 貫井囃子保存会	(東京都小金井市)
獅子舞	: 田名八幡宮獅子舞保存会	(神奈川県相模原市)
エイサー・獅子舞	: 琉球國祭り太鼓東京支部	(東京都杉並区)
高円寺阿波踊り	: 東京飛鳥連	(東京都杉並区)
チャッキラコ	: ちゃっきらこ保存会	(神奈川県三浦市)

平成12年度（2000年）第2回こども民俗芸能大会『こどもたちの舞い・踊り』

雅楽	: 瑞穂雅楽会	(東京都葛飾区)
阿波踊り	: 経堂むらさき連	(東京都世田谷区)
獅子舞	: 大島諏訪明神獅子舞保存会	(神奈川県相模原市)
和太鼓	: 相模龍王太鼓保存会少年部	(神奈川県相模原市)

平成13年度（2001年）第3回こども民俗芸能大会『こどもからこどもへ伝え継がれた神楽と踊り』

鉛屋踊り	: 長井町鉛屋踊り保存会	(神奈川県横須賀市)
本海番楽	: 猿倉番楽保存会	(秋田県鳥海町)
石見神代神楽	: 上府子供神楽団	(鳥根県浜田市)
荒馬踊り	: 世田谷リズムの会	(東京都世田谷区)

平成14年度（2002年）第4回全国こども民俗芸能大会『北から南から選抜された芸能大集合～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	青森県東通村「下北の能舞」	: 白糠子ども会
関東ブロック	静岡県賀茂村「猿っ子踊り」	: 賀茂村宇久須柴区子供会
東京都	北区「稲付の餅搗唄」	: 稲付千本杵餅練唄・餅搗唄保存会
近畿・東海・北陸ブロック	和歌山県太地町「いさな太鼓」	: 太地町民芸保存会こども民芸保存部会
中国・四国ブロック	徳島県山川町「山川町神代御宝踊」	: 神代御宝踊保存会
九州・沖縄ブロック	沖縄県平良市「荷川取のクイチャー」	: 荷川取子ども会

平成15年度（2003年）第5回全国こども民俗芸能大会『未来へ受け継がれるふるさとの芸能大集合～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	宮城県気仙沼市「廿一田植踊」	: 廿一田植踊保存会
関東ブロック	長野県飯田市「今田人形」	: 竜峡中学校今田人形座
東京都	練馬区「仲若囃子」	: 仲若囃子連
近畿・東海・北陸ブロック	岐阜県上宝村「天神祭りの獅子舞」	: 本郷子供会
中国・四国ブロック	愛媛県北条市「伊予万歳」	: 伊予万歳双葉会
九州・沖縄ブロック	大分県庄内町「庄内神楽」	: 庄内子供神楽愛好会

平成16年度（2004年）第6回全国こども民俗芸能大会『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	岩手県一戸町「根反鹿踊り」	: 一戸南小学校根反鹿踊り伝承クラブ
関東ブロック	新潟県佐渡市「附子」	: 佐渡市立真野中学校
東京都	板橋区「江戸祭り囃子」	: 神田流神田囃子保存会
近畿・東海・北陸ブロック	和歌山県下津町「塩津の鯛踊り」	: 塩津いな踊り保存会
中国・四国ブロック	鳥根県浜田市「石見神楽・人倫」	: 有福子供神楽社中
九州・沖縄ブロック	沖縄県石垣市「石垣川平の結願祭」	: 川平伝統芸能保存会

平成17年度（2005年）第7回全国こども民俗芸能大会『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	山形県櫛引町「黒川能」	: 櫛引町立櫛引東小学校
関東ブロック	新潟県与板町「与板民謡」	: 与板民謡たちばな会
	新潟県栃尾市「廣大寺」	: 栃尾市立中野俣小学校
近畿・東海・北陸ブロック	三重県津市「唐人踊」	: 子ども唐人・唐人踊を継ぐ会
中国・四国ブロック	広島県北広島町「有田神楽」	: 有田こども神楽団
	山口県美和町「釜ヶ原神楽」	: 北門こども神楽
九州・沖縄ブロック	長崎県長崎市「滑石竜踊」	: 滑石竜踊保存会こども竜踊

平成18年度（2006年）第8回全国こども民俗芸能大会『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	青森県十和田市「鶏舞」	: 沢田鶏舞保存会
関東ブロック	茨城県利根町「利根地固め唄」	: 利根地固め唄保存会
東京都	東京都八王子市「八王子車人形」	: 八王子市立由井中学校三味線部
近畿・東海・北陸ブロック	奈良県山添村「御殿万歳」	: 山添御殿万歳こども教室
中国・四国ブロック	鳥取県鳥取市「麒麟獅子舞・さいとりさし」	: 中ノ郷伝統芸能くらぶ
	鳥根県邑南町「石見大元神楽」	: 市木楯尾子ども神楽団
九州・沖縄ブロック	熊本県玉名市「伊倉仁○加」	: 伊倉仁○加保存会
在日の海外芸能団体	東京都目黒区「インドネシアの伝統芸能」	: 東京インドネシア共和国学校

東京・明治神宮外苑

全会議室(18室)ブロードバンド対応!



- 宿泊 81室 (和40・洋29・和洋12) 400名
- 会議・研修 大ホール(1,360席)、他18室
- 婚礼・宴会



洋室



和洋室



A-ONE会議室

**日本青年館
ホテル**

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘7-1
TEL:03-3401-0101 FAX:03-03404-0611
<http://www.nippon-seinenkan.or.jp>
E-mail:hotel@nippon-seinenkan.or.jp

富士山麓・山中湖畔1,000mの別天地



- 宿泊 61室 (和29・洋30・和洋2) 330名
- 会議・研修 10室 (18~150名)
- その他 大浴場 中国菜館「湖林」 体育館
野外炊飯場、駐車場完備



大浴室



新館洋室



ホール



**山中湖畔荘
ホテル清溪**

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村旭日丘
TEL:0555-62-0020 FAX:0555-62-4460
<http://www.nippon-seinenkan.or.jp>
E-mail:seikei@nippon-seinenkan.or.jp



親子でたのしむ
**こどもの
まつり**

第9回全国こども民俗芸能大会
民俗芸能で広げよう子どもの世界

スタッフ
構成・演出
照明
音響
舞台監督
舞台進行
宣伝美術
記録写真
記録映像
制作

(社)全日本郷土芸能協会

齊藤正雄

安良岡守

菅生 昭 小野瀬孝志

賢持真一 泉 純子 中野倫子

牛久保滋

野澤雅史

(有)オフィスT・O

(社)全日本郷土芸能協会

森下春夫 西田昌代 小岩秀太郎

親がいたのしき
まごども
まつり



●北海道東北ブロック

松前神楽

北海道 神恵内松前神楽保存会

鹿子躍・鶏舞

岩手県 一関市立舞川小学校

●関東ブロック

滝沢の放歌踊り

静岡県 浜松市立都田中学校

●東京

江戸の祭り囃子

東京都新宿区 戸塚囃子保存会

●近畿 東海・北陸ブロック

御殿万歳

愛知県 西尾市立西野町小学校

●中国 四国ブロック

御調神楽

広島県 尾道市立上川辺小学校

●九州 沖縄ブロック

島唄・六調

鹿児島県 天城子宝六調バンド

●在日の海外芸能団体

インドの伝統芸能

コンテンポラリー・ナティヤムカンパニー



社団法人 **全日本郷土芸能協会**

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-10-45 ヴィラ赤坂 208
TEL. 03-3583-8290 FAX. 03-3583-2089
URL : <http://www1.biz.biglobe.ne.jp/jfpaa/>
E-mail : jfpaa@mte.biglobe.ne.jp